

佐々木富士名判官ガ番ニテ中門ノ警固ニテ候ケルガ略申入ケルハ上ハ様ハ醜ハニハ未知シ召

レ候ハズヤ楠兵衛正成金剛山ニ城ヲ構テ楯籠候シ處ニ略下

〔資勝卿記〕元和七年辛酉十二月十五日

一女御様○後水尾后御脇フサギ也○中女御様の御うつくしさうへ様○後水尾もながめいらせら

れ候つる

〔東大寺獻物帳〕厨子壹口

右伴厨子○中後太上天皇○聖傳賜今上○孝今上謹獻盧舍那佛

〔類聚國史百四十七〕日本後紀序

臣緒嗣等討論綿書披閱曩策文史之興其來尙矣○中今上陛下○仁稟乾坤之秀氣含宇宙之滴精

略下

〔三代實錄清和〕貞觀元年三月十九日乙亥大僧都傳燈大法師位真雅抗表曰○中每年三月上旬試

定上件三人當於今上降誕之日度之○下

〔三代實錄陽成〕元慶元年四月廿一日壬辰先是去三月二十九日今上奉表請太上天皇○清和御封

戶欲被許納○下

〔枕草子五〕今上○一の宮○敦まだわらはにておはしますが○下

〔増鏡藤三衣〕今上○四は二歳にぞならせたまふ

〔續世繼三葉〕當今○高倉御事申も憚り多く侍れどつゞきにおはしませば事新らしく侍れど

申になん

〔公明卿記〕寛政四年正月十八日閑院一品宮○典仁親王御事當今○光御間柄之儀ヲ以尊號宣下之事

略下

今上

當今